

米国環境保護庁
ワシントン D.C.20460

大気放射局

2011年7月21日

ENERGY STAR®コンピュータパートナーまたはその他関係者各位：

EPAは、ENERGY STARコンピュータ基準バージョン6.0の策定作業を支援するデータ収集を開始した。この取り組みは、すべてのデスクトップおよびノートブック製品、ワークステーション、シンクライアント、および小型サーバーを対象とする。このデータ収集に対するEPAの目的は、これまでのプログラムバージョンにおける類似した取り組みの目的と同様に、本基準改定において基準値および要件の策定を可能にする、システム設定と消費電力の広範なデータを構築することである。

本書の添付書類は、システム情報を記録するためのデータ入力票である。データ収集に対するあらゆる貢献は、これら入力票を使用して行わなければならない。検討を行うため、データは、**2011年9月14日水曜日までに**computers@energystar.govを通じて提出される必要がある。

今回のENERGY STARデータ収集の取り組みにおいて検討用に提供されるデータは、115Vで得られたものでなければならない。試験機関の任意により、その他2つの許容試験電圧である230Vおよび100Vにおいても、追加データを提供することができる。EPAは、入力電圧条件の違いによるばらつきに対処するために、単一の115V水準において一貫して得られた基本データを使用したいと考えており、他の電圧で試験される製品に対する性能基準値の調整については、本取り組みにおいてすべてのデータを入手した後、分析段階において検討される予定である。関係者は、本課題に関する予備情報として、V5.0策定における注記を再読することが推奨される

(http://www.energystar.gov/ia/partners/prod_development/revisions/downloads/computer/ENERGY%20STAR%20Notes%20on%20Draft%203%20Data.pdf)。

EPAは、コンピュータ構成装置のアイドル時消費電力データの収集を目的とする、同時並行的な取り組みの実施を計画している。これらデータは、消費電力の追加を伴う機能を絞り込み、適切な許容値を規定する必要性を確認するために有用である。本取り組みとシステムデータの両方に関して、EPAは、要件および基準値の改定を可能にする十分に広範なデータを構築するという、業界の公言目標を共有する。この目標を達成するため、EPAは、バージョン5.0/5.2基準の適合データを収集データに含める予定であり、またノートブックの場合と比較してENERGY STARの市場占有率が低い、デスクトップ、ワークステーション、シンクライアント、および小型サーバーの非適合製品データを特に求めている。EPAは、包括的なデータ収集に取り組む一方で、適時な基準策定作業に尽力する。

EPAは、関係者による今回のデータ収集に対する意見およびデータの提出に感謝する。質問については、本プログラムの総合窓口 (computers@energystar.gov)、米国環境保護庁のRJ Meyers (meyers.robert@epa.gov)、またはICF InternationalのEvan Haines (ehaines@icfi.com)宛に送信してほしい。

ENERGY STAR への継続的な支援に感謝する。

Best Regards,

RJ Meyers
U.S. Environmental Protection Agency
ENERGY STAR for Computers